

# ディリー・ジーザス・ニュース #204

## 奉獻祭後のペレアにおけるイエスの宣教

イエスは謙遜の美德について教える

ルカ14.7-14

7 イエスは、晩餐会の客たちが自分たちのために席を慎重に選んでいることに気付き、次のようなたとえ話をされました。

8 「誰かがあなたを結婚披露宴に招待したとき、あなたよりももっと身分の高い人が招待されているかもしれないのに、その席に座ってはいけません。9 もしそうなら、あなたたち二人を招待した主人が来て、『この人に席を譲ってください』と言うでしょう。そして、あなたはひどく屈辱を受け、最も低い席に座らなければなりません。

10しかし、あなたが招待されたときには、最も名誉ある席に座りなさい。そうすれば、あなたを主人に迎える人が来たとき、『友よ、もっと良い席へ移りなさい』と言われるでしょう。そうすれば、あなたは他の客の前で名誉を受けるでしょう。

11 「すべて、自分を高くする習慣のある者は低くされ、自分を低くする習慣のある者は高くされるであろう。」

12 そこでイエスは主人に言われた。

「ブランチやディナーを開くときは、友人や兄弟姉妹、親戚、裕福な隣人を招待しないでください。招待すれば、彼らもあなたを再び招待してくれるかもしれませんし、そのお返しをしてくれるでしょう。」

13しかし、あなたが宴会を開くときには、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人、（14）そうすればあなたは祝福されるでしょう。たとえ彼らがあなたに報いることができないとしても、義人の復活の時にあなたは報いを受けるでしょう。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ =<sup>MT</sup>、マーク=<sup>M</sup>、ルカ=<sup>L</sup>、ヨハネ=<sup>J</sup>、使徒行伝=<sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、赤いイタリック体はイエスの言葉を示します。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

### コンテキストダイジェスト

位置	ペレアのパリサイ人の家で
タイムライン	1月または2月（36ヶ月目と37ヶ月目）
イエスの生涯の文脈	第7段階：ペレアにおけるイエスの宣教

## ディリー・ジーザス・ニュース #204

	エルサレム奉獻祭後のイエスの宣教
タイトル	3. イエスは謙遜の美德について教える

### コメント：

今日の朗読では、イエスは夕食を共にしたパリサイ人への愛情深い説教を続け、その晩彼らの間で観察された態度に直接当てはまる二つの教訓を与えました。

まずイエスは、彼らの行動を汚す傲慢さについて指摘されました。具体的には、彼らは皆、名誉ある席をめぐって争っていました。それぞれが、同僚よりも優れており、特別に認められるに値すると感じていたのです。

イエスは彼らに、謙遜を選び、自分よりも他者の方が尊敬に値するにと教えました。最も低い席は、彼らの中でも最も罪深い者たち、そして他者に仕える者たちのものでした。イエスは真の偉大さとはこのような態度だと考えました（マタイ18章）。

イエスは11節で謙遜に関する普遍的な原則を説かれました。自分が他人よりも罪深いと自覚し、謙遜な態度で他者に仕えることで他者を築き上げようとする人は皆、最終的にはその謙遜の美しさによって神に認められます。一方、自分が他人よりも義なる者と自覚し、それゆえに他者から仕えられることを期待する人は皆、最終的にはその傲慢な態度の罪深さによって神に裁かれます。

本当に敬虔な人は、自分自身の罪深さを深く自覚しており、神の愛に心から動かされて、できる限りのあらゆる方法で他の人々に奉仕します。

第二に、イエスは真の謙遜を促す神の国の観点を指摘されました。利己的な人は、何か見返りを得たいという下心を持って、他人に何かをしたり、言ったり、与えたりします。私たちが利己的な動機を持っていることの証拠は、自分が他人のためにしたことが適切に評価されなかつたり、必要な時に恩返しをされなかつたりしたときに感じる失望感にあります。自分が他人のためにしたことに対して、相手も同じように返礼しなければならないと感じる時、私たちの動機は不純です。

一方、王国の観点では、神が私たち全員に惜しみなく注いでくださった無償の愛に応えて、私たちは他の人々に仕えるようになります。

私たちが持つものはすべてキリストのものであり、キリストから惜しみなく与えられています。ですから、私たちはイエスの所有物を、イエスが愛する他の人々に分け与えようと努めます。私たちは何の見返りも求めません。ただ、すべてを可能にしてくださった神に、ふさわしい栄光が与えられることを願うのです。こうしたすべての奉仕は、復活の時に報われます。その時、私たちは、イエスの名において私たちが行ったすべての善行に対して、イエスが栄光を受けられるのを見るという感動に満たされるのです。

## ディリー・ジーザス・ニュース #204

パリサイ人は神を愛すると主張しました。イエスは彼らの真意を見抜きながらも、彼らの動機を熟知しておられたことを活かし、眞の謙遜さから生まれる眞の偉大さへと、愛をもって彼らを導きました。イエスの二つの教えは、イエスを信じ、その言葉を心に留めるパリサイ人の心と人生を変えたことでしょう。  
そうはなりませんでした。

応用：

イエスがあの夜パリサイ人をご覧になったように、イエスは今日も私たちをご覧になります。イエスはあなたの中に誇り、それとも謙遜さを見ていますか？

プライドは靈的な毒となり、致命的な害をもたらします。謙虚さは、キリストのような人格の最も輝かしい宝石の一つです。謙虚さは、イエスがそもそもすべてを可能にしてくださったことに対する栄光をお受けになるのを見ることに最大の喜びを見出す、無私の奉仕へと導きます。

もっと謙虚になるために何ができるでしょうか？

どのような形のプライドを否定する必要があるでしょうか？

あなたは今日、イエスのために、具体的にどのような卑しい奉仕を行うことができますか？